

※STEP2以降は学習指導要領の目標や内容、「内容のまとめりごとの評価規準」※1の考え方等を踏まえましょう。



※1

「内容のまとめりごとの評価規準」については『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」第2編を参考にしてください。

STEP1 育成を目指す資質・能力を明確にする

- ・学習指導要領や各校の方針、計画(年間指導計画)を基に単元で取り上げる指導事項を確認し、育成を目指す資質・能力を明確にしましょう。
- ・生徒の実態や前単元までの学習状況等を確認しましょう。
(その際、学習指導要領解説 P166~177「教科の目標、各学年の目標及び内容の系統表」を見て学習の系統性も確認しましょう。)

STEP2 単元ゴール(評価規準)を設定する

- ・指導事項を踏まえ、単元で付けたい力が付いた生徒の姿を具体的に想定しておきましょう。

STEP3 言語活動を設定する

- ・指導事項を身に付けるために適した言語活動を位置付けましょう。
- ・どのような資質・能力を育成するために、どのような言語活動を行うのが生徒にも分かるようにしましょう。
(単元名の例)「投書を書こう~多様な読み手を想定して文章全体を整える~」

STEP4 単元の指導と評価の計画を決定する

- ・どの時間に何を評価するのか整理しましょう。※2
- ・それぞれの領域の学習過程を踏まえましょう。
- ・評価の実際と手立てを想定しましょう。その際、「B と判断する状況の例」(見方・考え方を働かせている生徒の具体の姿※3)や「C と判断する状況への手立ての例」を想定しましょう。

※2

記録に残す評価は毎回の授業ではなく、それぞれの現実状況を把握できる段階で行うなど、その場面を精選しましょう。



※3

国語では「言葉による」見方・考え方を働かせます。生徒が学習の中で話や文章の言葉に着目し、言葉を通して理解したり、理解したことに基づいて自分の考えを言葉で表現したりする姿を具体的に想定しましょう。



STEP5 一時間ごとの指導の流れを想定する

- ・導入・・・単元の見通し、前時の学習の振り返り、本時の目標やめあての明示、本時の見通しをもつ等
- ・展開・・・主となる発問や学習課題、個人学習とグループ学習の位置付け等
- ・まとめ・・・本時の学びの価値の共有
- ・振り返り・・・「分かったこと」「自分の変化・成長」「今日の学びのつながり」「新たな疑問」など
(資質・能力が身に付く方向に向かっているか、最終的に身に付いたかどうかを把握するための視点を示すなど、手立てを工夫する)